

開催日：2016/1/29（金）

開催時間：14:50～16:40

# 探究サプリ講座 ★ 映画『またかな』上映会

純粹で、切なくて、そして痛い。揺れ動く青春の空気がここにある。  
高校生のあなたに送る青春ロードムービー。理由なんかないんだ。『ちょっとヤバイ』とか  
『何となく』だけで嘘をついてる。 古厩智之監督作品 原作:喜多川泰

1 / 29 (金)

14:50～16:40

生物講義室(南館4F)

この上映会は、映画を製作した「またかな」製作委員会の主催する「またかな学校上映プロジェクト」の一環として行われるものです。この映画をとおして、全国の高校生に“これまでの自分を見つめ、未来の自分の姿を考える。”きっかけにしてほしいという趣旨に賛同した人達の寄付によって行われている上映会です。上映会の感想や様子が実施後に公式サイトに実施報告として掲載される予定です。



「ワン」から始まった僕の終。  
出会う人は、皆、必死で、厳しく、  
とても優しくかった。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

古厩智之監督作品

バリアフリー上映です。  
視覚障害者対応日本語音声ガイド  
聴覚障害者対応日本語字幕表示

探究サプリ ★

映画「またかな」上映会 参加申込書

( )年( )組( )番 氏名( )





「またかな」上映会 感想 (2016.1.29 実施)

「また必ず会おう」という言葉でつながってるストーリーがステキでした。主人公が成長していく姿やまわりの人が厳しいけど優しいところに感動した。(2年女子)

自由・人生について考えさせられた。ためになった。(2年女子)

嘘をつくことについていろいろ考えさせられた。和也がこれから福岡に帰るまでどんなことがあるのか気になった。(2年女子)

私も柳下さん好きです。旅を通して和也が成長していく中で、考えさせられることがたくさんあった。1人で生きていくって難しいことなんだと思った。(2年女子)

良い話だった。和也の成長に感動した。(2年男子)

見て良かった。今後の生活に生かせそう。(2年女子)

だんだん変わっていく和也の姿がとても印象的だった。(2年女子)

いろんな人と出会う中で主人公が成長していく姿がとても描かれていておもしろかったです。自分も同じ年代で同じ境遇があったり、とても共感できました。これからの人生いろいろあるけど、自分の力で乗り越えていこうと思うことができた。(2年女子)

旅の途中に合う人々が面白くて、みんな何かを抱えてて優しさが伝わってきた。バリアフリーの映画をみたのは初めてだったが、これなら誰でも楽しめるなと思った。(2年女子)

旅の途中でたくさんの人に会い主人公はとて素晴らしい経験ができたと思います。和也がちゃんと家に帰れたか気になります。(2年女子)

バリアフリー上映というのは初めてだったけど、主人公の行動が細かく副音声や字幕で説明されていて、誰にでも見やすい映画だと思った。最初は慣れなかったけど、これはこれでなかなか良いと思った。柳下さんが急に死ななくて良かった。和也が出会った人たちはみんな優しくていい人ばかりだった。(2年女子)

出会いの大切さを改めて感じた。全員が優しくかった。人との出会いを大切にしていきたいと思った。(2年女子)

出会いというものは素晴らしいと思った。すごく感動した。(2年女子)

人と人との繋がりや人の温かさ、誰もが1度は経験する事が詰まった映画だと思った。主人公が色々な人に出会って成長する姿がよく描かれていて見ていておもしろかった。(1年女子)

人との出会いや関わりはすごいなと思った。人の温かさを感じた。(1年女子)

出会いはステキだと思った。とても小さなきっかけから始まっていて、たくさんの人と出会っていて、人と人との繋がりはずいと思った。自分も、出会った人々を大切にしていきたい。(1年女子)

人生についていい勉強になった。(2年女子)

人との出会いは大切だということを改めて感じた。(2年女子)

バリアフリー上映というのは初めてだったので、最初は違和感もあったし、おもしろいなと思った。見ているうちに慣れてきて、これは目がみえない人や耳がきこえない人でも楽しめる映画だなと思った。(2年女子)

和也が旅先でいろいろな人に会い、考えさせられる姿をみて、私もいろいろなことを考えることができた。お金の大切さや人とのかわりなどたくさんのことが考えられた。面白さもあったので、最後まで見入ってしまった。(2年女子)

心に響いた。(2年女子)

旅をする中で少しずつ成長していく和也の姿が印象的だった。(2年男子)

自分では見ないジャンルの映画なので、この機会に見ることができてとても良い経験になった。和也がこの旅を通じて変わってきているなと思った。(2年女子)

人の温かさを感じる映画だった。主人公が旅と共に成長していき、旅先で出会う人たちが個性的で、温かく見てほっこりした。(2年男子)

副音声がシュールで面白かったです。でも盲目の人にとっては嬉しいものだと思うので、このような映画が増えてもいいなと思いました。(2年女子)

原作を読んでいて、内容を知っていましたが、本と映像で伝わり方が違うんだなと感じました。登場人物はみんな思いやりに溢れた人ばかりで、人は人に思い思われて生きているんだと感じました。一人一人の言葉が心にしみました。(2年女子)

時間を忘れて見てしまうものでした。“人間の真”の部分がみれるような作品でした。弱い人間、強い人間、様々な部分があるような感じが面白かった。「また、必ず会おう」人生はそれぞれ、みんな何か辛い思いをしている。それを乗り越えて生きている。かずや君の成長が面白かった。ヒッチハイクしてみたい。撮影の角度が良かった。最後のカズヤの撮った写真たちが、全てを振り返ってじんわりきた。(2年女子)

自分しか見られなかった主人公が先々でいろいろな人に会って、だんだんと他人の気持ちが理解できるようになって人としてどんどん大きくなっていくところに感動した。(2年男子)

変わっていく主人公の姿に感動した。(2年女子)

旅をしたくなった。私もあんな人と出会いたい。(2年女子)

和也が旅先で出会う人々が皆優しく、人の温かさに感動した。「また、必ず会おう」というセリフがとってもかっこよかった。(2年男子)

和也の成長していく姿がよかった。(2年男子)

助けられた人は、大切なことは何かに気づき、困った人に出会ったときに、今度は自分が助けることができていると思った。人はつながっていると思えた映画だった。(2年女子)

和也が旅の途中でたくさんの人と出会いだんだん成長していく様子がすごい分かった。とても良かった。(2年女子)

この物語に出てきて、かずやと関わる人はみんな何かを抱えているが、どの人も不器用に優しいと思った。そういう人たちに会って、和也も少しずつ変わっていく姿が何かいいなと思った。特に最後、りょうへいにお金を渡して、お母さんに会ってきなって見送るのが和也が少し大きくなった気がして良かったなと思った。今回、はじめてバリアフリーの映画をみたが、細かい描写についても、音声説明がついていたので、これなら目や耳の不自由な人でも一緒に楽しめていいなと思った。この映画の内容から人との関わり方を知り、バリアフリーという目先からは、目や耳の不自由な人がいるということ、その人たちの気持ちを考え直すきっかけを与えてもらった。バリアフリーの映画がふえれば、もっと多くの人たちが一緒に楽しめる機会ができると思うので、増えればいいと思う。(2年女子)

人と人のつながりを感じることでできる映画だった。(2年女子)

誰でも見やすい方法で上映の工夫が見られた。全国のいろいろな人に見てもらいたいという気持ちが伝わった。たくさんの人と出会って変化する考え方があるので、私もたくさんの人と出会いたいと思った。(2年男子)

主人公が少しずつ成長していく様子がおもしろかった。ナレーションのシュールな感じがよかった。(2年女子)

主人公がいろいろな人に出会って、心がかわっていくのが分かった。りょうへいは和也と同じことをやっているように思える。出会った人々の写真が、小さな旅がどのようなものが分かるようで、その人々との約束「また必ず会おう」が心の中に残った。(2年男子)

何となくついた嘘から始まった旅で出会った人たちは皆いい人で和也にとっていい経験になったと思う。皆それぞれ抱えているものがあって刺激を受けて和也は成長していったなと思った。(2年女子)

始めは和也は、自分の立場を守るために嘘を多くついていたが、まさみやその旦那さん、柳下さんに出会って、和也が変わっていくのが分かりました。和也が出会った人々は、みんな言っていることはとても厳しかったけれど、和也に対しての行動はみんな和也への優しさがこめられているなと感じました。最後にりょうへいくんと会って和也が今まで教えられたことをすべて伝えていて、成長したことを強く感じました。(2年女子)